

I はじめに

本校は2015年に職業実践専門課程として文部科学大臣より認定された。2016年度から文部科学省の「学校評価を活かした専修学校の質保証に向けて」～専修学校における学校評価実践の手引～を参考に自己評価アンケートと評価基準を作成し、教職員を対象として毎年アンケート調査を実施しており、2018年から2020年度の自己評価結果は下記の通りである。

2020年度は学内の自己点検・自己評価委員会を年4回開催し、アンケート結果に基づき、評価の低い項目については改善のための協議を行った。回答者は保健看護学科4年課程14名と看護学科2年課程7名、介護福祉学科2年課程2名、医療秘書学科2年課程2名の教員と校長を含む事務職員6名、合計31名であった。

教職員の年間の異動は毎年全体の約10%程度である。2020年度はコロナ禍の影響で学校行事や活動が少なくなり、例年に比し全体的にやや低い評価結果となった。項目別では、財政に関する評価が特に低かった。財政状況について広島YMCA本部との関係もあり、教職員への情報提供が十分でなく、教員の関心も低いことが要因と考えられる。

例年は評価結果を学校関係者評価委員会で協議しているが、2020年度はコロナ禍の中で対面での協議が難しく、今回は評価結果を外部委員に送付し、委員からの意見と学内委員の意見を下記のように集約した。

II 結果及び考察

1 教育理念・目標 平均 3.32

		2020	2019	2018
理念・目的・育成人材像は定められているか	設問1	3.6	3.7	3.6
学校における職業教育の特色が明らかになっているか	設問2	3.7	3.5	3.7
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	設問3	2.9	3.2	3.2
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	設問4	3.0	3.1	3.0
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	設問5	3.4	3.4	3.5

学校関係者評価委員会評価

教育理念・目標に関する評価の平均は3.32でほぼ適切である。設問3の社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているかについては2019年度の3.2に比し、2.9と評価がさがっている。今のところ、教職員に学校の将来構想について、少子化が進展する中で専門学校としての明確なビジョンが示されていないことが要因と考えられる。その他の評価はほぼ適切で年度の差も見られない。

2 学校運営 平均 3.26

		2020	2019	2018
目的等に沿った運営方針が策定されているか	設問1	3.4	3.7	3.6
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	設問2	3.3	3.6	3.5
運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか	設問3	3.3	3.6	3.5
人事給与に関する制度は整備されているか	設問4	3.0	3.2	3.0
教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	設問5	3.2	3.2	3.3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	設問6	3.3	3.2	3.4
教育課程に関する情報公開が適切になされているか	設問7	3.5	3.6	3.3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	設問8	3.1	3.0	3.1

学校関係者評価委員会評価

学校運営の評価の平均も3.26でほぼ適切である。設問1～3の評価がやや下がっている。医療秘書学科については、学生確保が難しくなり広島YMCAを含む学校関係者で協議の結果、2021年度より募集停止とした。学内での理解と同意を得ての決定であったが、多少評価に影響したと考えられる。教育課程は、学生便覧に記載し関係者に配布して公開が行われている。設問8の情報システム化についてはGoogle classroomを用いて、学生と教員間の情報伝達の効率化が図られている。

3 教育活動 平均 3.29

		2020	2019	2018
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	設問1	3.4	3.5	3.6
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	設問2	3.5	3.6	3.6
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	設問3	3.6	3.5	3.7
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか	設問4	3.3	3.5	3.7
関連分野の企業関係施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか。	設問5	3.2	3.3	3.6
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技実習等)が体系的に位置づけられているか	設問6	3.4	3.6	3.5
授業評価の実施・評価体制はあるか	設問7	3.6	3.7	3.6
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	設問8	3.1	3.4	3.6
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	設問9	3.4	3.7	3.8
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	設問10	3.4	3.5	3.7
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	設問11	3.2	3.3	3.3
関連分野における業界との連携においてすぐれた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	設問12	3.1	3.2	3.1
関連分野における先端的な知識技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	設問13	2.9	3.2	3.2
職員の能力開発のための研修等が行われているか	設問14	2.9	3.2	3.4

学校関係者評価委員会評価

教育活動について、評価の平均は3.29でほぼ適切。設問1から14項目までの平均は3.29であり、全体としての評価はよいが、2019年度に比べるとやや評価が下がっている。コロナ禍で教員の外部研修会や学会等への参加が出来なかったことが関係していると思われる。教育方法の工夫については、科目ごとに、学生からの授業評価を行い、それらを参考に学科の教員同志で模擬授業、研究授業を実施し研鑽が図られている。

4 学修成果 平均 3.10

		2020	2019	2018
就職率の向上が図られているか	設問1	3.4	3.7	3.6
資格取得率の向上が図られているか	設問2	3.5	3.7	3.5
退学率の低減が図られているか	設問3	3.2	3.2	3.2
卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	設問4	2.6	3.1	3.0
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	設問5	2.8	2.9	3.0

学校関係者評価委員会評価

卒業生の名簿管理は2018年度から業者委託で行われている。卒業生の退職や転職、職場異動については事例が多く、把握は難しいと思うが、その中でも卒業生からの相談等には丁寧に対応されているようである。卒業生の活用等、何らかの取り組みが出来ればと願う。

## 5 学生支援 平均 3.03

		2020	2019	2018
進路就職に関する支援体制は整備されているか	設問1	3.3	3.3	3.2
学生相談に関する体制は整備されているか	設問2	3.3	3.6	3.4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	設問3	3.2	3.3	3.5
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	設問4	3.3	3.7	3.5
課外活動に対する支援体制は整備されているか	設問5	2.7	3.3	3.2
学生の生活支援体制は行われているか	設問6	2.9	3.5	3.5
保護者と適切に連携しているか	設問7	3.3	3.7	3.6
卒業生への支援体制はあるか	設問8	2.9	3.2	2.9
関連分野における業界との連携による卒業生の再教育プログラム等を行っている	設問9	2.5	2.7	2.7
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	設問10	3.0	3.2	3.2
高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取り組みが行われているか	設問11	2.9	3.2	3.3

## 5 学生支援

設問の約半数が2019年度に比し評価が下がっている。下がった設問は課外活動、学生の生活支援や卒業生への支援体制、再教育プログラム等であり、コロナ禍の折、対面での活動等が制限され、行動の自粛が求められたことが大きな要因と考える。

## 6 教育環境 平均 3.10

		2020	2019	2018
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	設問1	3.1	3.7	3.5
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	設問2	2.9	3.1	3.5
防災に対する体制は整備されているか	設問3	3.3	3.5	3.6

## 6 教育環境

Web環境を整え、ICT教育の充実が図られている。2020年度5月から、部分的にオンライン授業を実施している。海外研修はコロナ禍で出入国が制限され実施されていない。防災の設備は備えられており、防災訓練は毎年実施されている。例年は学校全体で消防署の協力を得て実施されていたが、2020年度は感染防止のため学科ごとに実施されている。

## 7 学生募集 平均 3.23

		2020	2019	2018
高等学校、接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	設問1	3.1	3.4	3.4
学生募集活動は、適正に行われているか	設問2	3.2	3.5	3.5
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	設問3	3.3	3.4	3.5
学納金は妥当なものになっているか	設問4	3.3	3.4	3.4

## 7 学生募集

学生募集について、オープンキャンパス、高校等への訪問募集もコロナ禍で制限された。オンラインによるオープンキャンパスや人数を制限した「いつでも説明会」学校のホームページの充実等の工夫が行われている。また高等教育無償化の申請を行い、2021年度から承認された。

## 8 財務 平均 2.18

		2020	2019	2018
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	設問1	1.9	2.9	2.7
予算収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	設問2	2.1	3.1	3.0
財務について会計監査が適切に行われているか	設問3	2.4	3.3	2.6
財務情報公開の体制整備はできているか	設問4	2.3	2.9	2.4

## 8 財務

財務については自己評価の11のカテゴリーのうち最も評価が低くなっている。少子化と大学志向が強くなる中で専門学校の学生確保は困難となっているが、YMCAの利点をもっと考える必要があるのではないかと。中長期的に財務基盤が安定しているかについて、特に評価が低くなっている。その理由と情報公開についての関係者への周知が必要ではないかと。

## 9 法令遵守 平均 3.35

		2020	2019	2018
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	設問1	3.6	3.6	3.6
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	設問2	3.5	3.6	3.8
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	設問3	3.3	3.8	3.7
自己評価結果を公表しているか	設問4	3.0	3.8	3.6

## 9 法令遵守

法令順守はカテゴリー中最も評価が高いが、2019年度に比しやや評価が下がっている。評価結果については、学内の委員会で問題点について検討を行っており、HPでも公表しているが、もう少し周知の努力が必要である。

## 10 社会貢献・地域貢献 平均 3.1

		2020	2019	2018
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	設問1	3	3.4	3.7
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか	設問2	3.2	3.6	3.7

## 10 社会貢献・地域貢献

YMCAが力を入れている分野である。毎年多くの学生が地域ボランティア等に参加し、地域貢献を行ってきたが、2020年度は新型コロナウイルスの感染防止のため殆どの行事が中止となった。

## 11 国際交流 平均 2.74

		2020	2019	2018
国際的視野を広げるための授業科目を設定しているか	設問1	3.2	3.2	3.3
国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えているか	設問2	2.5	3.3	3.2
留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	設問3	2.5	3.1	3.0
受け入れ・派遣等において適切な手続き等が取られているか	設問4	2.9	3.1	3.0
学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか	設問5	2.6	2.7	2.6

## 11 国際交流

国際交流の評価について例年に比し2020年度は評価が下がっている。カリキュラムに「国際理解」や、外国人教師による英会話の授業を取り入れている。また例年国際交流の一環として広島YMCAの留学生との交流会を実施していたが、2020年度はコロナの関係で中止した。留学生の受け入れも予定していたが、入国不可で入学が出来なかった等の社会環境が大きく影響していると思われる。

Ⅲ まとめ

アンケート調査対象となる教職員の異動は2020年度は全体の約14%で86%は前年と同じメンバーが同じアンケートに回答している。  
 2020年度で大きな変化があったのは、財務、学生募集、社会貢献、国際交流でそれぞれ評価結果が低くなっている。2020年度は新型コロナウイルス感染防止対策で学校行事や地域ボランティア、国際交流などが制限された影響が考えられる。  
 また、学科別の職員数が、学科により大きく異なっており、それぞれの学科の平均値を合計し、部署数で割ったものを平均値として記載した。  
 割ったものを平均値として記載した。今回も例年と同じ評価方法で比較したが、平均値の出し方について、今後検討が必要である。  
 財務については職責によって、評価が異なっている。社会貢献・地域貢献については、新型コロナ感染が落ち着けば、活動を復活し学生の満足につなげたい。

2018年度から2020年度評価項目全体の結果

評価項目別結果	平均点		
	2020年度	2019年度	2018年度
1 教育理念・目標	3.32	3.38	3.41
2 学校運営	3.26	3.39	3.32
3 教育活動	3.29	3.44	3.51
4 学修成果	3.10	3.32	3.27
5 学生支援	3.03	3.34	3.25
6 教育環境	3.10	3.43	3.49
7 学生募集	3.23	3.44	3.44
8 財務	2.18	3.05	2.69
9 法令遵守	3.35	3.70	3.67
10 社会貢献・地域貢献	3.10	3.50	3.64
11 国際交流	2.74	3.08	3.00
総合計	33.70	37.07	36.69
平均	3.07	3.37	3.34

